

# 四日市市コミュニティスクール

学 校

「生きる力」  
「ともに生きる力」を  
身につけた子どもの育成

家 庭

地 域

みんなでつくる  
「地域とともにつくる学校」

四日市市教育委員会

四日市市は、コミュニティスクールを推進していきます。

本市においては、平成 18 年度から中部中学校、中部西小学校、八郷小学校の 3 校をモデル校に指定し、本市の実情にあったコミュニティスクールのあり方について調査研究を進めてきました。

平成 22 年度からは、水沢小学校、四郷小学校を新たに加え、5 校を四日市市コミュニティスクールとして指定します。

それぞれの学校では、学校や地域の実情にあった工夫した取組が展開されています。

## 中部中学校

本校の運営協議会は、テーマを「参画と評価」とし、学校運営や教育活動について協議することを主な活動としています。

### < 学校理解 >

委員は、人権・道徳の公開授業をはじめ、体育祭・文化祭など機会あるごとに参観し、本校の教育活動について理解を深めています。

### < 協議会の持ち方 >

平成 21 年度は、協議会と意見交換会に分けて開催しました。

会議の目的を明らかにすることで話し合いの焦点化がなされ、充実した内容となりました。

協議会では、校長・各部会の担当教職員から取組についての説明を具体的に行うことで、委員からは、たくさんの質問や意見が出され、協議が深まっています。

意見交換会では、授業や行事の参観後に行うことで、委員のそれぞれの視点から率直な感想や評価が出されています。

### < 参画の意識 >

委員は、運営協議会の役割をよく理解していただいております、「ともに学校づくりを進める当事者」としての自覚と責任を持って学校運営や教育活動に参画していただいております。



## 水沢の郷土を愛し、心身ともに調和のとれた子の育成

～ 学校を核とした地域力の向上とともに ～

四日市市立水沢小学校

### きらら委員会

本校のコミュニティスクール運営協議会の名称を「きらら委員会」としました。「きらら委員会」では、保護者や地域のより積極的な学校運営への参画のあり方、地域の教育力を活用した教育活動のあり方について検討を進め、学校を核として地域と保護者、教職員が一体となって水沢小学校をよりよく築いていく体制づくりを進めていきます。

具体的には、「学力向上」「地域・体験活動」「安全・安心」の3つの視点について、学校と地域との協働を進めたいと考えています。また、学校を核としたこの取組が水沢地区の地域の連帯や地域力の向上に役立てるよう努めていきます。

### 地区文化祭と学校公開日の共催

平成 21 年度初めての試みとして、学校が地域と一体となって地域の文化の発信と学校公開を行いました。

学校としては、地域の方々に、今の教育の現状や今の水沢の子どもたちの姿・学校の姿の一面を見ていただくよい機会となりました。

また、子どもたちにとっても、地域のいろいろな方々に参観していただいたり、体験活動など盛りだくさんの授業や活動があったりして有意義な一日になりました。



## 中部西小学校

**<協議会の持ち方>** 保護者・地域の皆さんに学校運営や教育活動に参加参画していただくには、ただ単に学校を支援していただくのではなく、一緒に考えるためのアプローチが必要であると考えます。

本校では、毎回、次のようなテーマでグループ討議を行っています。

「中部西小学校をよりよい学校にするために、どんなことに取り組んでいけばよいか。」

「学校参画委員会（トライアングル）が学校の応援団としてできることは何かがあるのか。」

各グループでは、子どもの姿や学校・地域それぞれの様子についての情報交換がなされ、学校で取り組んで欲しいこと、家庭・地域としてできることなどの様々な提言が出されます。

**<参画の意識>** 保護者・地域の皆さんが関心をもっているところ、関わりやすい活動から、学校・保護者・地域の協働を進めています。協働することで、委員の皆さんの学校についての理解が深まり、「自分たちの学校」、「自分たちの学校をよりよくしたい」という思いが高まっています。

**<平成21年度のテーマ>** 平成20年度末の参画委員会からの提言により、「子どもたちが『歴史と伝統』のある中部西小学校を誇りに思うようになるためには、保護者・地域の方々がどんな取り組みをしていけばよいか」をテーマに話し合いが行われました。

### 「資料展示室整備の取組」

学校参画委員会では、「資料展示室整備委員会」を立ち上げ、資料展示室に残されていた明治・大正・昭和の学校や四日市の様子の写真や教科書、昔の道具などの整理にあたっていただきました。渡り廊下は中部西小学校の歴史を語るギャラリーとして整備されました。また、「中部西小学校のはじまりと今」というスライドも作成していただき、児童集会でも上映されました。



## 地域と学校が一丸となった学校づくり

～いい学校づくりは、いい地域づくりとともに～

四日市市立四郷小学校

### 全教職員が参加する協議会

本校は、これまでも学校づくり協力者会議に全教職員が参加し、次のような趣旨・形式で協議を行ってきました。

#### 趣旨

学校は、学校の努力や状況を委員に理解できるように伝える。

委員は、家庭・地域のニーズを学校に伝え、学校は改善につなげる。

#### 形式

パネルディスカッション...委員と各担当の部長の教職員がパネラーとなり、その提案や発言を他の教職員が聞いている形。もちろんパネラーである委員とフロアの教職員との意見交換も行われています。  
グループディスカッション...委員と教職員が本校の重点目標別のグループに分かれて協議を行います。  
これらの取組により、委員・教職員とも互いを理解し合った柔らかい自由な雰囲気での話し合いができるようになり、委員の「学校への参画」の意識、教職員の「家庭・地域の学校に対する思い」への理解が深まっています。

平成21年度は、委員からの提案で、地域の方々による学校環境整備が実施されました。

「町が悪かったら、学校もよくなる。学校と地域は別々の考えにならないようにしたい。一丸となって学校づくりに邁進していきたい。」との委員長の考え方のもと、コミュニティスクールの指定を受け、学校・保護者・地域の連携をさらに高めていきます。



## 八郷小学校

**<運営協議会のねらい>** 本校の協議会のねらいは、本校の学校づくりビジョン「仲間と心を合わせ、チャレンジする子」「地域で学び、地域で学ぶ故郷を愛する子」の目標達成のため、「地域とともに歩む学校づくり」を目指します。また、地域・家庭・学校が、お互いに連携を密にして子どもの教育にあたり、郷土を愛する子どもを育て、八郷地区のまちづくりに貢献することとしています。

**<協議会の持ち方>** 本校の運営協議会は、「学校運営委員会」「拡大委員会」をもって構成しています。

学校運営委員会では、学校改善にかかわる学校運営に対する意見・提言や学校評価を行います。

拡大委員会では、それぞれの学校支援ボランティアの団体の代表も参加し、地域の子どもの育てるための活動について情報交換しています。このことにより、それぞれの団体が互いの活動を理解しあい、「みんなで地域の子どもの育てることを確認しながら目指す方向性をそろえることにつながっています。

**<参画の意識>** 本校の委員の皆さんは、保護者・地域が子どもを育てる当事者として、それぞれの立場で何ができるのかを話し合いながら活動を行っています。また、地域ボランティアの皆さんも、学校のニーズを十分汲み取りながら学校支援を行っています。さらに、本校の運営協議会は、学校を核として地域の皆さんが学校にかかわることを通して、地域コミュニティの育成にも大きく働きかけています。

#### 「まちづくり委員会との協働」

まちづくり委員会と協働し、地区の行事に子どもたちが積極的に参加できるよう働きかけています。



## 四日市市では、保護者・地域の皆さんが参画する

「地域とともにつくる学校」を目指しています。

### <本市のコミュニティスクール>

本市のコミュニティスクールは、「学校づくり協力者会議」をより発展させた組織として位置付け、単なる「地域に開かれた学校」ではなく、保護者・地域の皆さんが学校づくりに主体的に参画する「地域とともにつくる学校」の実現を目指しています。

### <本市における運営協議会の役割>

コミュニティスクールには、「運営協議会」を設置します。

その取組を通して、保護者・地域の皆さんが学校運営に参画していきます。

本市における「運営協議会」では、

学校長が学校運営や教育活動の基本方針を示す「学校づくりビジョン」の承認を行います。

「学校づくりビジョン」の実現に向けた学校運営及び学校教育活動の充実について協議します。

保護者・地域の皆さんの学校運営や教育活動への参画や支援等のあり方について協議します。

学校の自己評価を受け、学校関係者評価を行います。

参画...活動に参加するだけでなく  
計画段階から加わること

### <協力者から当事者として参画する意識の高まり>

運営協議会の委員の皆さんは、これらの取組を通して、

「学校運営や教育活動への理解」を深め、

「『学校・家庭・地域』のそれぞれが担う役割」についての認識し、

「教職員とともに学校づくりを進める当事者としての意識」を高めています。



コミュニティスクールの取組により、「地域全体で子どもを育てよう」とする気運が高まっています。

### <協力から協働、協働から参画へ>

小中学校では平成 20 年度から、幼稚園は平成 21 年度から「学校づくり協力者会議」を設置しています。

委員の皆さんから、

「学校と家庭・地域との協働による学校づくり」を進めるための具体的な提言をいただいているといった学校からの報告が増えてきています。

「学校づくり協力者会議」からの提言を受け、次年度の改善方針に反映させている学校も多くなってきています。

次第に「協力から協働」、「協働から参画」といった意識の高まりが感じられます。

### <コミュニティスクールの指定>

本市では、次のような学校をコミュニティスクールとして指定し、「地域とともにつくる学校」づくりを支援していきます。

学校づくり協力者会議が中核となり、保護者や地域の皆さんが学校運営への参画や学校教育活動の充実のために協働する仕組みを持っている、または、整えようとする学校

今後は、年次的に指定する学校を拡大していきます。

### <地域コミュニティへの波及効果>

学校を核として保護者・地域の皆さんが協働するコミュニティスクールの取組は、学校運営や学校教育活動の充実だけでなく、「地域コミュニティづくり」にも役立っています。

保護者・地域の皆さんがコミュニティスクールの活動に参画することで、子どもたちとの仲がよくなったり、保護者・地域の皆さん同士が心安くなったりするなど、地域でのコミュニケーションがよくなってきています。

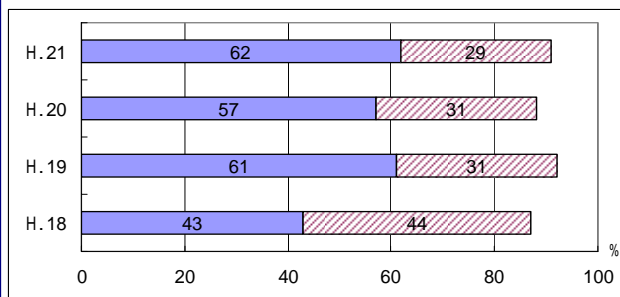
保護者・地域の皆さんからは、「学校にかかわることで、自分たちの持っている経験や技能を子どもたちに伝えることができ、社会に貢献できる」と喜ばれています。



# コミュニティスクールの成果

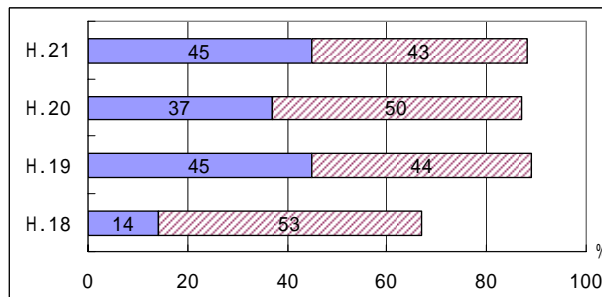
## 中部中学校 生徒アンケート

学校生活は楽しいですか



【凡例： ■ そう思う ■ 概ねそう思う】

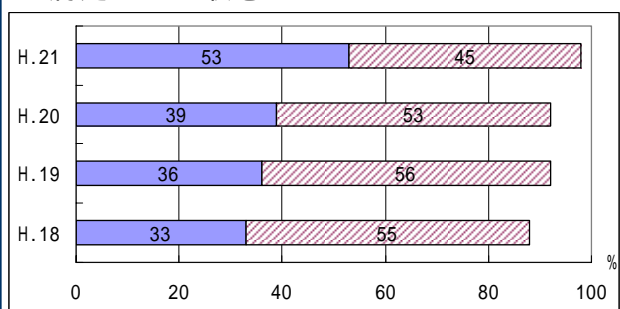
地域や保護者に授業や行事などを参観していただくことはよいことである



教職員以外の大人が学校に入り、活動を見守っていただいたり、声をかけていただいたりすることは、中学生にとってもプラスの環境として働いています。

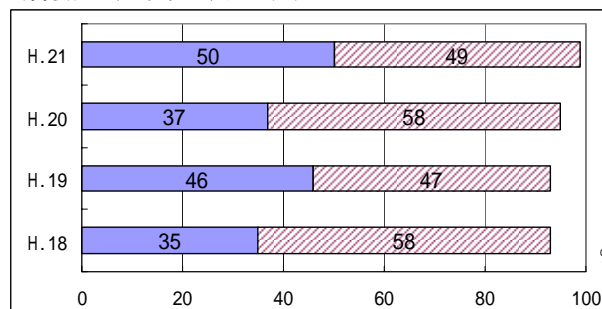
## 中部西小学校 保護者アンケート

学校の教育活動は全体的に見て満足できる状態にある



【凡例： ■ そう思う ■ 概ねそう思う】

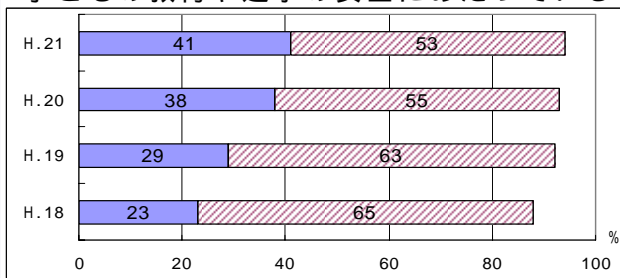
学校は、参加参画型の教育活動や体験活動の充実に力を入れている



参加参画型授業やふれあいパトロール、図書・ベルマークのボランティア等、学校と地域との協働による取組が学校教育活動を充実させ、また、保護者・地域の皆さんが参画することで学校への理解が進み、学校への満足度が高まっています。

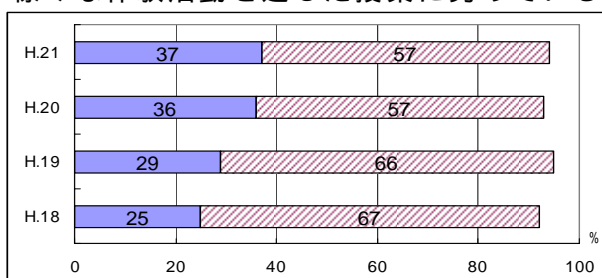
## 八郷小学校 保護者アンケート

学校・家庭・地域が協力・連携して子どもの教育や通学の安全にあたっている



【凡例： ■ そう思う ■ 概ねそう思う】

地域の文化・自然・人材を学習に入れ、様々な体験活動を通じた授業に努めている



図書・学校環境整備・教科・クラブボランティア、安全部会のパトロール等、学校と地域との協働による取組が学校教育活動の充実につながっていることを保護者の皆さんにも広く認識していただいています。

お問い合わせ先：四日市市教育委員会教育総務課政策グループ

059-354-8237